

平成 30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	マルシェかわかみ日本一の産直化事業
事業主体 (連絡先)	マルシェかわかみ農産物等直売所 (川上村大深山536 0267-78-3250 代表 新海正修)
事業区分	(6)オ 産業振興、雇用拡大に関する場業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	600,847 円 (うち支援金: 448,000 円)

事業内容

1. 野菜栽培講習

概要：レタスのなかでも「オリンピック」という品種はマルシェかわかみでしか買えない商品である。しかし、土づくりの肥料配分や消毒散布に専門的な知識が必要なため「つくりづらい」とされ生産者が限られている。栽培講習会を開催し生産者を増やすことで希少価値が高い野菜を安定的に販売する。

時期：第1回 4月21日(土) 第2回 12月1日(土) 第3回 1月26日(土)

講師：長野八ヶ岳農協 農業指導員 小池敬一氏

○第1回終了後に 講習会の中で「土壌分析」の必要性を教わりすぐ実行した方がいました

2. 野菜栽培現地指導

概要：圃場で現況を見ていただき対策等の指導を受けました

時期：7月28日、9月8日(篠原 圃場) 8月11日、8月25日(岩水 圃場)

講師：長野八ヶ岳農協 農業指導員 小池敬一氏

対象：オリンピックレタス栽培農家の圃場

○初めてオリンピックレタスを作付けして 実際収穫時期を見極めるのが難しく天候にかなり左右されてしまう「オリンピックレタス」でした。しかしマルシェでの販売実績は増やすことができました。

3. レタス祭り等の開催

概要：、オリンピックレタス等を目玉商品にしたイベントを開催しました。お客様には川上村のマスコットキャラクターの顔出しパネル等で記念写真が撮れるよう楽しんでもらいました。「村民運動会」に初出店の際持ち出しをしたところ、子供たちが大喜びで写真を撮ってもらっていました。冷凍ストッカーを使用して、はりこしまんじゅうも販売しました。

■オープニングイベント

5月1日(火)

場所：マルシェかわかみ 来店者：村内外 80名
朝採りレタス販売 山菜の天ぷら トン汁等(無料提供)
マルシェオリジナル ルバーブ入りドレッシングの試食(無料提供)

■レタスマつり

8月11日(土)

場所：マルシェかわかみ 来店者：村内外 200人
川上村で収穫したオリンピックレタスや バタビアレタス等10種類のレタスの食べ比べをしていただきました。はりこしまんじゅうの販売
マルシェオリジナルドレッシング無料提供 焼きそば(無料提供)

■収穫祭

10月27日(土)

場所：マルシェかわかみ 来店者：村内外 120名
ハロウィンの時期なので、カボチャ とジャガイモ料理の無料提供
はりこしまんじゅう、秋野菜の販売



【運動会初出店風景】

○来店者が多く特に夏の「レタス祭り」ではオリンピアレタスを目玉にした試食は大変好評だったようです(マルシェ実施のアンケートから)

○天候に左右されるオリンピアレタスですが売り上げ増につながる希少価値のある野菜です

概要:若手女性農家活動のネットワークを作ること、野菜消費拡大を目指すことを目的にワークショップを開催しました。

■ ワークショップの開催

第1回 日程:11月14日 テーマ:旬の野菜をたっぷり使った料理教室

第2回 日程:1月24日 テーマ:発酵料理

講師:長谷川まなみ氏

○村内の若い方たちが貯蔵している野菜を使って、普段とは違う料理を教わることが出来ました。最近特に「発酵料理」が注目されているので身近な食材として野菜と一緒に使える事など大変勉強になりました。来年度も女性企画のワークショップを続けていきたいです。

4. 先進地直売所の視察研修

概要:視察先は既に独自(加工品)のブランド化に成功している農産物直売所です。この視察を通して、参加者自身で新ブランドを目指す為の加工品を開発するための勉強をしました

時期:12月6日(木)参加者:27名 視察先:群馬県沼田市川場田園プラザ

講師:川場田園プラザ富沢弘親 群馬県甘楽郡こんにゃくパーク

川場田園プラザでは最初に事業経過等発展していったいきさつや苦労話また「加工品」作りは時間がかかることでの大変さを教えて頂きました

広い施設を案内してもらい「農産物直売所」では店内陳列の工夫こだわり野菜等教えていただきました。

加工品開発のアイデアの勉強のため「こんにゃくパーク」の視察を追加しました。一見地味な「こんにゃく」をあらゆるタイプ、例えば「ラーメン」「焼きそば」に加工して「無料バイキング」で試食したり、「工場見学」が出来ることで多くの方が訪れていました。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

①イベント集客数 400人(29年度 350人位)

②オリンピアレタス農家数 1軒から3軒に増えた

③ワークショップは今年2回開催された。

- ①「マルシェかわかみ」をイベントを通じてPRし来客数を増やす
- ②希少価値のある「オリンピアレタス」の安定供給ができるように、生産する農家を増やす
- ③若手女性農業グループによる、野菜消費拡大を狙ってワークショップが開催された

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今の時代はネットやインスタグラム等でPRしたほうがより多くの方に伝わるようです。若い方はよく熟知しているので積極的に協力していただき「マルシェかわかみ」を宣伝してもらいます。「オリンピアレタス」や「希少価値の野菜」の生産量をさらに増やし安定供給を目指します。来て頂いたお客様に喜んでもらえれば自然にPR効果につながると思うのでイベント企画内容を工夫したいです。

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」:予定を上回る効果が得られた 「B」:予定していた効果が得られた

「C」:一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

※自己評価【 B 】

【理由】

マルシェかわかみへのイベント来客数は増えて良かったが、売り上げは伸びなかった。来年度は新しい地域特産品を開発して売り上げを伸ばしていきたい